

私には大丈夫?!

気づけない!!

生活習慣病の恐ろしさ



みんなの健康を守ろう

発行者 春日 中学校
 名前 佐藤 百桃
 2年 2組

私の父は8年前、健康診断にピロリ菌を発見しました。ピロリ菌は、胃炎、胃がんなどの疾患を引き起こす原因となります。健康診断で発見できたことにより、除菌治療を受け、ピロリ菌を除菌することができました。この経験から、私の家族は毎年健康診断を受けるようにしています。

そして、家族で健康と笑顔を守っています。

生活習慣病は以前まで、「成人病」と呼ばれていましたが、近年では成人だけでなく中高生などの若者でも、発症の可能性があると分かっています。その原因は主に生活習慣の乱れです。

生活習慣の乱れにより、生活習慣病の特徴として、自覚症状があまりないことが挙げられます。

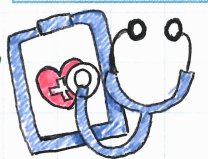
●自覚症状のない病
 気や身体の変異に気づくことができません。

●生活習慣の問題点を自覚でき、生活習慣を見直す機会となる

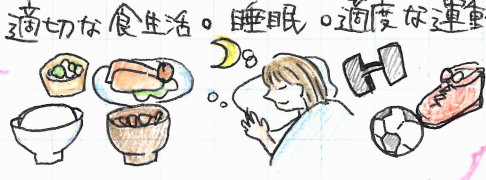
●病気の早期発見、早期治療により、長期入院・長期治療をしなくても済むため医療費が減らせる。

医療費について、現代の日本の医療の問題点でも、医療費の増加や保険料負担の増加が課題となっています。

健康診断



生活習慣で大切なこと



適切な生活習慣を身につけることが大切です。健康の良き生活習慣を見つけて、改めたいと思います。

ぜひ定期的な健康診断を受け、生活習慣を見直し、健康な生活を過ごしてください。

みんなの健康を守りましょう。

このように新聞を書く機会をいただき、ありがとうございました。

編集後記

国民医療費	
令和4年度	46兆6967億円
前年度	45兆359億円
増減	1兆6605億円 (3.7%UP)

現在の日本の医療費問題

令和4年度の国民医療費は46兆6967億円、前年度の45兆359億円に比べ1兆6605億円(3.7%)の増加となっています。

医療費の増加は、国民の保険料や負担の増加に伴い、医療システムの維持が困難になるリスクが高いです。